

2017年10月20日  
SMBC日興証券株式会社**「東京グリーンボンド(5年)第1回債」引受・販売のお知らせ**  
～債券投資を通じて東京都の環境施策に貢献～

SMBC日興証券は、東京都が本日発行した「東京グリーンボンド(5年)第1回債」の引受・販売を務めましたので、お知らせいたします。本債券は、地方債として初のグリーンボンドの発行であり、当社が引受主幹事を務めた5年債に加えて、30年債も同時に発行されています。引受主幹事は「東京グリーンボンド(5年)第1回債」が三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社と当社、「東京グリーンボンド(30年)第1回債」が三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社とメリルリンチ日本証券株式会社です。

グリーンボンドとは、環境事業に要する資金調達のために発行する債券であり、東京グリーンボンドの発行による調達資金は、東京都のスマートエネルギーによる快適な都市づくりや自然環境の保全に向けた事業、気候変動の影響への適応に関連した事業等に充当される予定です。また、東京グリーンボンドは、国内自治体として初めて、国際資本市場協会(International Capital Market Association:ICMA)の定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券であるという評価を、第三者機関「oekom(イーコム) research AG」より取得しています。

東京都は、環境先進都市、国際金融・経済都市として成長を続ける「スマートシティ」を目指しています。今回、国内自治体として初となるグリーンボンドの発行を通じて、かかる政策の実現に必要な環境事業資金を調達すると共に、本邦グリーンボンド市場の活性化と他発行体の参入促進に繋げ、国内の貴重な資金が国内の環境対策に活用される流れを創出すること、また、機関投資家に対して、社会的責任を果たすための投資機会を提供することを企図しています。

マーケティングにおいては、社会的責任投資に関心の高い多様な投資家から旺盛な需要を集め、最終需要は両年限併せて400億円超に達しました。また、生保や都銀等、信託銀行、投信・投資顧問、系統上部、中央公的、地銀、系統下部、諸法人など幅広い業態の投資家において、自身の社会的責任投資の取り組みを公表する動きが拡大しています。

当社は、1999年に日本で初めて投資信託に環境の視点を取り入れたSRIファンド「日興エコファンド」の取り扱いを開始するなど、社会や環境への企業の取り組み、事業活動での影響を考慮して投資対象を決める社会的責任投資の普及にいち早く取り組んでまいりました。

近年では、グリーンボンドを含め、「環境」「社会」「企業統治」への取り組みを重視する「ESG投資」が、世界の大きな潮流となり、投資を通じた社会への貢献が注目されています。本債券の販売は、日本におけるESG投資、グリーンボンド市場の更なる拡大に繋がるものと考えており、ご購入頂く投資家の皆様と共に、投資を通じた環境への取り組みの更なる浸透に貢献してまいります。

### 【今回発行される東京グリーンボンドの概要】

名称	東京グリーンボンド(5年)第1回債	東京グリーンボンド(30年)第1回債
年限	5年	30年
利率	0.020%	0.982%
発行額	50億円	50億円
条件決定日	2017年10月20日	2017年10月20日
払込日	2017年10月31日	2017年10月31日
償還日	2022年9月20日	2047年9月20日
取得格付	A+(S&P)	A+(S&P)

### 【今回発行される東京グリーンボンドによる充当予定事業】

#### ■スマートエネルギー都市づくり

競技施設の環境対策／都有施設の改築・改修／都有施設・道路の照明のLED化／  
都有施設のZEB化推進／上下水道施設の省エネ化

#### ■持続可能な資源利用・廃棄物管理

競技施設の環境対策

#### ■自然環境の保全

競技施設の環境対策／都有施設の改築・改修／公園の整備

#### ■生活環境の向上

競技施設の環境対策／ヒートアイランド現象に伴う暑熱対応(遮熱性・保水性の向上)／環境にやさしい都  
営バスの導入／合流式下水道の改善／水再生センターでの高度処理

#### ■気候変動への適応

中小河川の整備／高潮防御施設の整備／東京港・島しょ海岸保全施設整備事業

当社は「いっしょに、明日のこと。」をブランドスローガンに、今後も引き続きお客さまを中心に考え、より高い価値を提供し、信頼と安心をお届けしてまいります。

以 上